

エコアクション21
環境経営レポート
2024年度



活動期間2024年4月1日～2025年3月31日

作成日2025年5月31日

環 境 経 営 方 針

基 本 理 念

(株)メディクリーンは設立から今日に至るまで、医療分野での長年にわたる実績とスケールメリットを活かし「安心、安全、信頼、丁寧」を合言葉に、廃棄物の適正な収集運搬業務に努めてまいりました。医療関係機関で発生する感染性廃棄物の適正な処理は人々の安全に直結するだけでなく、地域の環境保全にも係る重要な問題です。(株)メディクリーンは地域での取り組みの中で地球環境問題を考え継続して自主的、積極的に以下の行動指針を守ります。

行 動 指 針

- 1 適切な収集・運搬技術の開発や改善
- 2 法規制の変化を察知し、これに対応した行動体制の整備
- 3 変化に対応する専門業者としての自覚と新技術の修得
- 4 排出事業者からの改善案に対応し、廃棄物の最適な処理システムの構築
- 5 地域住民や自治体への協力とクレームに対する迅速な対応
- 6 地域社会への貢献(信頼関係強化)
- 7 適切な処理料金で受託し、採算性を向上させ経営の安定化を図る
- 8 この環境経営方針は、全従業員に周知する

改定 令和6年5月9日

北九州市小倉南区下曾根新町13-1
株式会社 メディクリーン
代表取締役 荒木 晋二

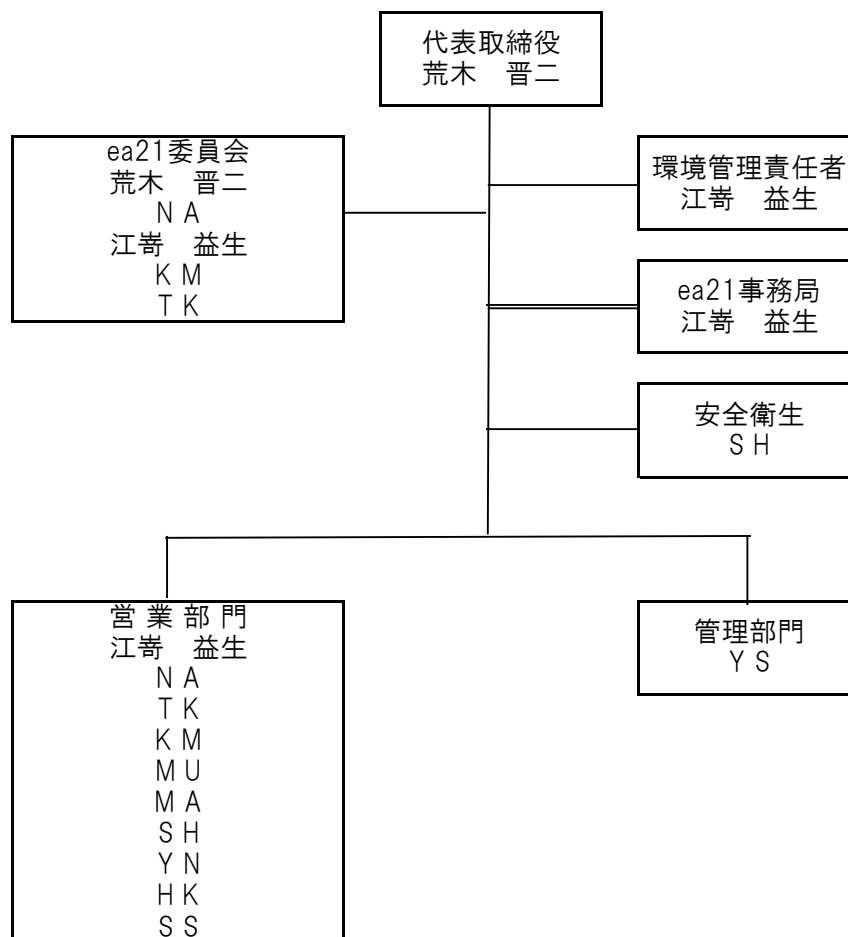
I. 事業の概要

- (1) 事業所名 : 株式会社メディクリーン
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役 荒木 晋二
- (3) 所在地 : 北九州市小倉南区下曾根新町13-1
- (4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
: 江寄益生 TEL093-475-4321 fax093-471-1862
- (5) 事業の内容 : 産業廃棄物収集運搬業務
: 特別管理産業廃棄物収集運搬業務
: 前号に付帯関連する一切の業務
- (6) 事業年度 : 4月～翌年3月
- (7) 事業の規模

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
処理量	t	872	760	731
売上高	百万円	179	147	141
従業員	人	12	12	13
床面積	m ²	100	100	100
()	()			
()	()			
()	()			

- (8) 法人設立年月日 : 平成2年12月
- (9) 資本金 : 4,500万円
- (10) ホームページアドレス
: <http://www.medi-clean.co.jp>
- (11) 認証・登録範囲 : 全社・全事業範囲

(12)組織図及びエコアクション21実施体制



(13)役割分担表

氏名	所属	役割・責任・権限
荒木 晋二	代表取締役	全体統括・環境方針の設定・環境への取組を実施するための資源の準備をする。
江崎 益生	営業 環境管理責任者	全体の把握・環境経営システムを構築し、運用しその状況を社長に報告する。
江崎 益生	EA21委員会	1ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する。
江崎 益生	EA21事務局	EA21文書及び記録の作成・維持・管理
工藤 隆生	営業	車(軽油)消費量管理
S H	営業	安全衛生

(15) 施設等の状況

車両の名称	型式・寸法	自動車登録番号	最大積載量	車検有効年月日
バン(保冷車)	2RG-NMR88N ・566x192x295	北九州100 す 80-59	1850kg	2025年10月6日
バン(保冷車)	2RG-XZC605M ・510x191x292	北九州100 す 85-22	2000kg	2025年8月20日
バン(保冷車)	BKG-NHR85AN ・497x180x268	北九州100 さ99-88	1500kg	2025年8月3日
バン(保冷車)	2RG-NHR88AN ・497x178x277	北九州100 さ75-41	1550kg	2025年9月16日
バン(保冷車)	BKG-NLR85AN ・521x191x289	北九州100 す 7-26	2000kg	2025年9月26日
バン(保冷車)	SKG-NMR85N ・570x192x279	北九州100 す17-28	2000kg	2026年4月25日
バン(保冷車)	2RG-NMR88N ・556*192*299	北九州100 す69-76	2950kg	2025年8月31日

(16) 処理実績

処理方法等	廃棄物等種類	令和4年	令和5年	令和6年
収集運搬	感染性産業廃棄物	787	682	671
	廃プラスチック類	42	35	32
	汚泥	15	13	9
	金属くず(52も含む)	19	24	13
	廃酸	1	1	1
	廃アルカリ	1	1	1
	ガラス・陶磁器くず	3	3	3
	廃油	1	1	1
	合計	872	760	731

(17) 処理料金

廃棄物の情報(種類、性状、数量等)を確認後お見積を提示させていただきます。



II. 環境経営目標

毎年、二酸化炭素排出量減=燃費向上を目標としておりますが達成出来ておりません。新車導入・車両メンテナンス等にて改善を図り、チャレンジャーとして目標に取り組む。

項目	単位	2023年度	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
顧客件数の拡大	件		50件	50件	50件
使用車両の燃費向上	7台の平均燃費	8.24	8.25	8.30	8.35
			改善に努める。		
使用車両の省エネ化	車両7台中6台が省エネ車		車両入替え時はより環境に配慮した車両を選択する。		
廃棄物排出量削減	事務室は親会社のフロアの一画にあり、削減に努めるが、ほとんど発生しないので現状維持に努める。				
水使用量削減	事務室は親会社のフロアの一画にあり、削減に努める。				

※下曽根駅周辺清掃活動 月1回 ※みんなで防犯応援隊登録 ※「ながら見守り宣言」

※省エネ車とは収集運搬車は平成27年年度燃費基準達成車。

※化学物質は取扱っていない。

※事務所は、親会社の一画にあり、電力の個別のメータはないため、使用量の把握・目標設定はできない。昼休みの消灯など、削減には努める。

III. 環境活動計画

(1) 顧客件数の拡大。

- ・新規に開業する医療機関との契約確保と情報提供。
- ・開業支援業者・建設会社・同業との連携を作る。
- ・代替わりでも契約を継続できるように情報収集をしている。
- ・既存の医療関係機関から臨時に発生する医療機器や薬品の廃棄の受託。
- ・関連会社の営業担当者よりの情報入手に努める。毎朝2F定時にロビー活動。
- ・常日頃、営業各位に挨拶し、市場環境の変化・得意先状況の把握に努める。
- ・過去担当DR訪問にて、新規開業情報を集める。
- ・新規開業DRの交友関係からの情報を集め、紹介までつなげる。
- ・同業他社のパンフレット(会社案内)持参にて帳合依頼などを行う。
- ・件数は減少したが、レントゲンの処理も対応していく。
- ・他処理会社との提携により継続していくことで新規の顧客獲得。
- ・大分県の新規許可証申請。

(2) 平成24年度(8.98km/L)を最終目標に、最低でも前年実績以上を維持する。

- ・省エネドライブの励行。
- ・訪問ルート最適化・収集ペースの見直し・車両内在庫の適正化等。
- ・車両のメンテナンス・点検整備をこまめに行う。
- ・車両を有効に運行(収集依頼状況で余裕がある場合は1~2台を運休にする)
- ・新車両1台増車→今後の新規収集員対応のためオートマを増車、しかし低燃費とはいかず苦戦。

IV. 環境経営目標(実績)

項目	単位	2023年度	2024年度 目標	2024年度 実績	判定
顧客件数の拡大	件		50件	54件	A
二酸化炭素排出量	kg-co ₂	53,099.29		51,519.31	A
使用車両の燃費向上	7台の平均燃費 km/L	8.24	8.25	8.07	C

判定基準A: 目標以上、B: 目標通り、C: 目標未達

V.環境活動の取組結果の評価と次年度の取組

(1)活動全体について

大分県の産廃・特感の許可を11月に取得。グループ会社等を通じてエリア拡大を進める。
顧客件数は目標を達成することが出来ました。
二酸化炭素排出量は前年実績を抑えることが出来ました。
車輦燃費については、車両経年劣化の影響も有り、目標は大きく下回りの結果となりました。
クラスターもまだ発生しておりますが、収集員の体調管理を十分行うことは出来ました。

(2)顧客件数の拡大について

新規契約の目標は、7期連続達成。 閉院先の産業廃棄物が増えている状況であり、対応していく。
年を追うごとに、親会社・同業他社・お得意先からの情報も増え、それを基に契約が取れたことに感謝し、継続していく。
親会社からは15件(対前年+3件)の紹介を頂き、目標の30%となりました。次年度は40%を目指します。
同業他社・御得意先からの紹介は10件(対前年+2件)で、20%となりました。
機械関係が20件と40%を占めており、今後もこの傾向は続くものと考え行動していきますとともに、
既存契約先・未取引先でも機械関係収集運搬を知らない先が多く掘り起こし作業を継続していく。
感染対策の環境は薄れつつありますが、専用スタンドのニーズもまだまだ有りが案内をしていきます。

(3)使用車両の燃費の維持について

7台、経年劣化・多走行車・燃費の悪い車両の減車・運休等手を尽くしましたが目標未達でした。
コロナ関係クラスターもありますが収集量も減り、日々の収集件数も効率の悪いものになってきた。
昨年比、①燃費2.4%ダウン ②燃料使用量-602.05L(-3.0%)③走行距離-8,457km(-5.1%)
コンプライアンス重視。毎年、各ドライバーがリスクマネジメント、道路状況・環境に応じた安全運転とエコドライブ、人にもやさしい運転を励行し、事故もなく終える事が出来ました。

(4)廃棄物排出量削減、水使用量削減について

普段から意識して行動しており、今後とも継続していきます。

(5)次年度の取組

既存市場の継続維持 排出事業者との面談・収集方法の改善 ※電子マニフェスト・DXE(代理起票管理)
営業体制の強化(新規軒数獲得) 開業支援部隊との情報強化
使用車両の省エネ化、省エネドライブの励行、新車両1台導入+1台減車
新ルート模索 車両運行の効率化
電気使用量、廃棄物排出量及び水使用量は、削減を意識しながら活動を継続

VI.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規(廃掃法、安衛法、消防法等)の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。関係当局からの指摘又は訴訟等も過去5年間ありませんでした。

VII.代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示

実施日:2025年5月31日

参加者:荒木晋二・江崎益生

評価	環境経営システムが有効に機能しているか	CO2削減に向けた取り組みとして、収集運搬車両の燃費向上(エコドライブ)を推進し、改善目標を掲げ、毎月担当者より全車両の燃費報告とエコドライブ10すすめから月の取り組み項目を選定し、社員一同環境意識を高く持ち環境保全に貢献できる事業展開を行なっている。
評価	環境への取組は適切に実施されているか	産業廃棄物収集運搬業における環境問題には適切に取り組まれている。また、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の意識徹底が廃棄物の減量化、減容化へ向けた活動に繋がっている。SDGsを意識し地域社会への貢献を念頭に活動している。
変更の 必要性 と指示	環境経営方針	環境負荷を軽減した企業経営を行うとともに、排出事業者への適正な産業廃棄物処理の推進を行い、環境意識を高めてもらう。地域社会での環境保全活動へ積極的に参加をする。
	環境経営目標・環境経営計画	業務改善(機能性向上、作業、収集運搬の効率化、DX推進)を環境経営と連結させる。社員教育の充実を図り、全社員の環境意識、行動のレベルアップを図る。
	環境経営システム	環境方針理念を徹底し、全社員が自分事として責任ある行動をおこなう。
	実施体制	担当者を決め現状適切に行われており、変更の必要はない。